

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年02月01日

計画の名称	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現その (防災・安全)											
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	行田市											
計画の目標	下水道施設の計画的な維持管理、改築・更新を行い、持続的な下水道機能を確認し、安心・安全で快適なまちづくりを実現する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	961	A	961	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R5当初	中間目標値 R7末	最終目標値 R9末
1	ストックマネジメント計画(全体計画・実施計画)の策定率を0%(R5当初)から100%(R9末)に増加させる。 ストックマネジメント計画策定率 計画策定済数/計画策定総数(3計画)	0%	100%	100%
2	ポンプ場施設において、ストックマネジメント計画に基づく改築更新の実施により、ライフサイクルコストを1.18億円/年縮減する。 ポンプ場施設の改築更新達成率 改築更新設備数/改築更新対象設備数(71ユニット)	0%	100%	100%
3	管路施設において、ストックマネジメント計画に基づく改築更新の実施により、ライフサイクルコストを2.74億円/年縮減する。 管路施設の点検・調査達成率 管路点検・調査済延長/管路点検・調査対象延長(87,929m)	0%	70%	100%
4	管路施設において、ストックマネジメント計画に基づき人孔蓋の安全機能確保率を0%(R5当初)から100%(R9末)に増加させる。 人孔蓋の改築・更新達成率 人孔蓋更新済基数/人孔蓋更新対象基数(250基)	0%	60%	100%
5	施設管理の高度化を図るとともに下水道事業の持続性を向上させるため、施設情報・維持管理情報等のデジタル化率を0%(R6当初)から100%(R6末)に増加させる。 下水道施設情報・維持管理情報のデジタル化達成率 デジタル化済み面積/デジタル化すべき面積(939ha)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

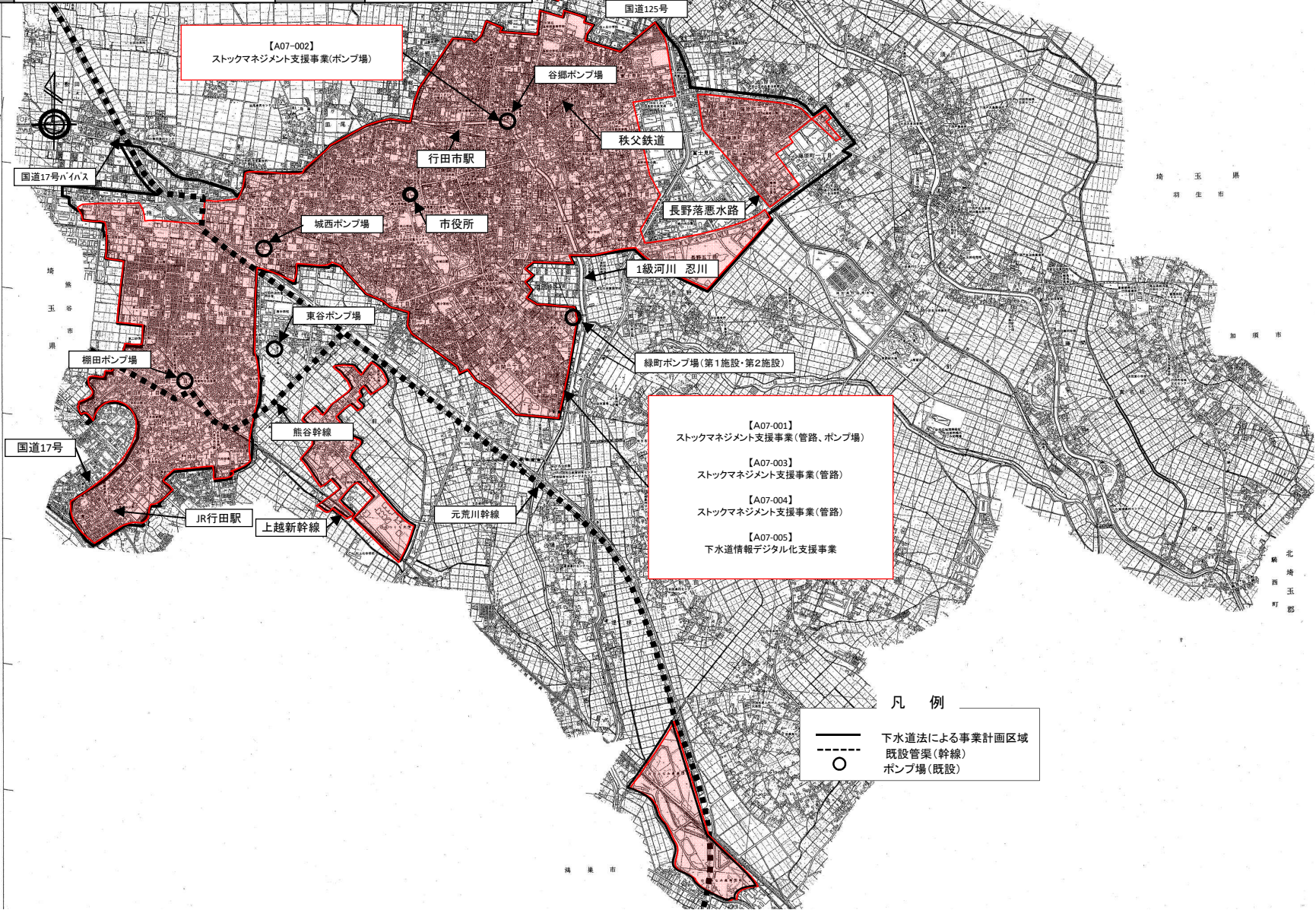
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	行田市	直接	行田市	-	改築	ストックマネジメント支援事業(管路、ポンプ場)	ストックマネジメント計画(全体計画・実施計画)策定	行田市						50		未策定
	ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント支援事業(ポンプ場)	ポンプ場施設における設備の改築更新	行田市						710		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-003	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント支援事業(管路)	マンホール点検、管路施設調査	行田市						110		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-004	下水道	一般	行田市	直接	行田市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメント支援事業(管路)	人孔蓋改築更新	行田市						85		策定済
	ストックマネジメント計画																		
	A07-005	下水道	一般	行田市	直接	行田市	-	改築	下水道情報デジタル化支援事業	GISマッピングシステムの改築	行田市						6		-
	ストックマネジメント計画																		
																	961		
																	961		
																	961		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	41				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	41				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	41				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現そのⅢ(防災・安全)		
計画の期	令和5年度 ~ 令和9年度 (5年間)	交付対象	行田市



【A07-002】  
ストックマネジメント支援事業(ポンプ場)

【A07-001】  
ストックマネジメント支援事業(管路、ポンプ場)

【A07-003】  
ストックマネジメント支援事業(管路)

【A07-004】  
ストックマネジメント支援事業(管路)

【A07-005】  
下水道情報デジタル化支援事業

凡 例

—— 下水道法による事業計画区域

----- 既設管渠(幹線)

○ ポンプ場(既設)

## 事前評価チェックシート

計画の名称：「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現その（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指数・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適正である。	○
III. 計画の実現可能性 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など事業の熟度が高い。	○